

2026 年度「卒業研究」（社会学科）課題

春学期：杉浦郁子・李ミン珍・片上平二郎・本多真隆・野呂芳明

秋学期：三輪哲・石川良子・前田泰樹・西山志保・山本崇記

各学期について、2つの課題を選択し、4つの課題について4月3日(金) 15時までに Google フォームで希望を提出すること。課題について詳しくは、R Guide に説明がある。また、各学期、第一回の授業に出席すること。

各課題は 4000 字以上（図表込み）とする。4つの課題で16000字以上は書くことになる。執筆の際には、第三者が読んでも分かりやすい文章になるよう、注意すること。立教大学大学教育開発支援センターwebにある Master of Writing を、よく参考にすること。ページ数をきちんと表記すること。

また、文献を引用する際には、剽窃がないように注意すること。引用元を明示せずに引用すると、盗作したことになる。また別の教員の課題に、ほぼ同じ内容の課題を提出することも不正行為となる。引用法や引用形式について、十分に注意すること。

春学期

【社会1】杉浦郁子

性をめぐる固定観念や規範は、個人の経験や社会のしくみに様々な仕方で影響を及ぼし、ときに特定の集団を排除したり、深刻な問題を引き起こしたりすることがある。現代日本で観察される性をめぐる格差・不平等・排除の現象を1つ取り上げ、以下の内容について4000字以上のレポートにまとめなさい。

- ①取り上げる格差・不平等・排除の現象について、その概要を整理しなさい。その際、あなた自身が日常生活で観察した具体例を1つ含め、なぜその現象を取り上げるのかという理由を明確に述べること。
- ②その現象がどのようなメカニズムやプロセスで生み出されているのか、また、その過程に性をめぐる固定観念や規範がどのように関係しているのかを分析しなさい。分析には、2つ以上の社会学ないしジェンダー論の概念・理論を用い、それらの有効性や限界を検討しつつ、あなた自身の立場を明示して論じること。
- ③取り上げた格差・不平等・排除はなぜ解消されるべきなのか、また、どうしたら解消できるのかを考察しなさい。政策、制度、文化、個人といった複数の水準から検討すること。

注 1) 5 点以上の社会学的書籍・論文を引用すること。出典を示す文献注には、必ず該当箇所のパージ数を明示すること。記載例：(中村 2020: 45-46)

注 2) ①～③の議論のなかで、統計データ、インタビューやモノグラフなどの質的データ、調査報道などを最低 1 点以上引用し、その内容を自分の言葉で説明すること。

注 3) ①～③の内容が含まれていれば、論じる順序は自由とする。構成を工夫し、章や節に適切な見出しを付けること。内容にふさわしいタイトル・サブタイトルを設定し、文献リストを末尾に付すこと。

注 4) AI を使用した場合は、どのように用いたのかを文献リストの後ろに付記すること。

【社会 2】李旼珍

いま私たちは工業社会の時代を超えて新たな発展段階の時代に入っており、そうした社会や経済は「ポスト工業社会」、「情報社会」、「ニュー・エコノミー」、「知識経済」といった様々な用語で議論されている。いずれの用語の社会や経済においても、人々の働き方は大きく変化していると言われている。3 つ以上の文献を読み、「ポスト工業社会」、「情報社会」、「ニュー・エコノミー」、「知識経済」における働き方の変化に関する諸議論を整理したうえ（諸議論の整理は 4 つの用語すべてについて行うこと）、働き方の変化に関する仮説を立て、働いている人（3 名以上）を対象にインタビューを実施し、仮説の検証や検証結果に関する考察を行いなさい。

【社会 3】片上平二郎

本課題では、文化作品の表現を比較分析することを通じて、それぞれの作品に表れる「社会のあり方」「時代の気分」「文化のディテール」を読み取り、それを手がかりに現代社会について社会的に考察することを目的とする。以下の指示に従い、4000 字以上のレポートとしてまとめなさい。議論の構成上、①～④を明確に区切らずに論述してもよいが、すべての要素を含めること。

① 理論的手がかりとなる評論書の選択

以下の 5 冊の評論書の中から 1 冊を選び、通読すること。レポートでは、その書名・著者名を明記し、自身の作品分析の理論的手がかり、分析枠組みとして用いること。

- ・渡邊大輔『明るい映画、暗い映画 21 世紀のスクリーン革命』（株式会社 blueprint）
- ・斉藤綾子『撮られる女／撮る女：フェミニズム映画批評の可能性』（青弓社）
- ・佐々木敦『メイド・イン・ジャパン 日本文化を世界で売る方法』（集英社）
- ・福嶋亮大『メディアが人間である 21 世紀のテクノロジーと実存』（株式会社 blueprint）
- ・楊駿驍・鄧劍・松本健太郎編『日中韓のゲーム文化論 なぜ、いま〈東アジア・ゲーム批評〉なのか』（新曜社）

※これら以外の評論書をメインの分析枠組みとして用いたい場合は、事前に担当教員に相談すること。ただし、その選択自体も評価の対象となる。

② 文化作品の比較分析

①で選んだ評論書の議論と関連するモチーフや問題関心を手がかりに、映画、テレビ番組、音楽、小説、ゲーム、マンガ、アニメ、アートなどの文化作品から2点以上を選び、比較分析を行うこと。授業で扱っていない作品を選んでもよい。

比較にあたっては、共通の分析視点を設定し、それに基づいて各作品を検討すること。比較の観点としては、例えば次のようなものが考えられる。

- ・時代の違いによる表現の変化
- ・地域や文化圏の違い
- ・同一モチーフに対するジャンル間の違い
- ・メディア環境の変化による表象の変化
- ・ジェンダー、労働、階級、災害などの社会的テーマの表象

重要なのは、作品の内容紹介にとどまらず、設定した分析視点に基づいて共通点と差異を論じることである。

② 社会学的文献の参照

レポートでは、①で選んだ評論書に加えて、社会学、メディア研究、文化研究などの学術的文献（研究書・論文など）を3点以上参照し、自身の議論を補強すること。単なる引用にとどまらず、それらの議論を踏まえて自分の分析を位置づけること。なお、ウェブ記事や解説サイトのみを参考文献とすることは認めない。

③ 現代社会についての考察

作品比較を通じて明らかになった特徴を手がかりに、それらの表現がどのような社会的背景、文化的条件、メディア環境と関係しているのかを考察し、そこから現代社会の特徴について自分なりの解釈を提示すること。

【社会4】本多真隆

あなたが関心をもっている家族および親密な関係に関する事象（例：父親の子育て、結婚のあり方など）をひとつ取り上げ、それが日本の近代化のなかでどのように変容してきたのかを、以下の指示に従って論じなさい。

①その事象が、前近代社会と近代社会でどのように異なるのかを、社会学、歴史学の参考文献（3冊以上）を踏まえて論じること。

②近代以降に関しては、対象とする事象を論じるために、参考文献とは別に、5点以上の一次資料を引用すること。資料の収集は、国立国会図書館（国会図書館デジタルコレクション）、公益財団法人大宅壮一文庫、大学図書館などを活用するとよい。なお、①の参考文献からの孫引きは避けること。集めた資料が一次資料に該当するか迷うときには、本多に問い合わせること。

③選択する事象によっては、近代以降もさまざまな変容があったことが想定される。可能な限り現代の状況が浮き彫りになるようにその変容をまとめること。

【社会5】野呂芳明

日本の少子高齢化と人口減少は、社会の各方面にさまざまな課題を顕在化させている。次の a. ～

c. のテーマから 1 つを選び、以下のように論述しなさい。

- (1) 選択したテーマを明記する。
- (2) 自身のレポートの内容にふさわしいタイトルをつける。
- (3) 選択したテーマについて、少子高齢化と人口減少がなぜその課題を顕在化させることになったかを述べる。
- (4) その課題の概略について統計データ等の客観的資料を適宜引用しつつ簡潔に説明する。
- (5) その課題に対して国家や地方自治体などの公的部門がどのような政策を展開しているか具体的に（事例を挙げるなどして）説明する。
- (6) その政策的対応の社会的効果や課題点について考察する。
- (7) レポートをまとめるにあたっては、単行本や論文など 5 本以上参照し言及すること。

〈テーマ（1 つを選択）〉

- a. 持続可能な福祉・社会保障のありかた
- b. 地方分権、地方行財政の課題
- c. 多様な人びと、ライフスタイルが共生する社会

秋学期

【社会 6】三輪哲

現代日本社会における、社会階層による世論（あるいは社会意識）の分断を計量社会学的に検証せよ。扱う世論・意識は、自身の関心のあるもので構わない。分析の結果に基づき、4000 字以上のレポートを作成すること。なお、レポートは、以下の条件を満たさなければならない。

- ① 社会意識や世論研究にかかわる文献（書籍や論文等）を 3 点以上読み、それらからわかることを整理する。
- ② それら文献でまだ明らかにされていないもので、社会階層と意識や世論との関連を予想し、ありうべき関連の在りようについて仮説を立てる。
- ③ 上記の仮説を検証するために、社会調査データのオンライン分析を、SSJDA Data Analysis (<https://online-data-analysis.iss.u-tokyo.ac.jp/>) によっておこなう。
- ④ 結果の出力を適切に加工して、レポートへと貼り付ける。（図表も文字数にカウントする）
- ⑤ 結果をもとに仮説の適否を判断し、結論を論じる。
- ⑥ タイトル、文献リストなども、適切に記述する。レポートの形式は『社会学評論スタイルガイド』へと従うこと。

なお、ここでいう社会意識や世論をあらわす変数としては、政党支持などの政治意識項目、環境意識項目、性別役割意識項目、主観的地位などの階層意識項目など、さまざまな意識変数が候補となりうる。また、社会階層的な地位をあらわす変数としては、職業、雇用形態、所得、学歴などが候補となる。データの分析では、クロス集計表や、相関・回帰分析などの諸手法から、目的やデータに適したものを選択する。

希望者に対しては、レポートのフォーマットファイルや、オンライン分析のマニュアル（デー

タの探し方も含む)を配布することができるので、三輪まで問い合わせること。

【社会7】石川良子

「大人になる」「自立する」とはどういうことか。①～③を4000字以上のレポートにまとめてください。注もしっかり読むこと。

- ①この問いに関連する5点以上の社会学的な文献(書籍・論文)を読み、その要点をまとめたうえで、自分の問いを設定してください。
- ②あなた自身が「素敵な大人だ」と思う人を2～3名選び(上記の問いについて語れるくらいに人生経験を重ねている年代の人)、ライフストーリー・インタビューを行ってください。
- ③最後に、インタビューをもとに上記の問いについて考察し、あなたなりの見解を示してください。その際は①でまとめたこととインタビュー内容を突き合わせ、新たに発見したことや気づいたこと、予想を裏切られて驚いたこと、感銘を受けたことなどを掘り下げることが大切です。

注1) ライフストーリー・インタビューの参考文献は下記の通り(レポート本文で引用・言及した場合のみ文献リストに加えてもかまいません)。

桜井厚, 2002, 『インタビューの社会学——ライフストーリーの聞き方』せりか書房。

桜井厚・小林多寿子, 2005, 『質的研究入門』せりか書房。

桜井厚・石川良子編著, 2015, 『ライフストーリー研究に何ができるか——対話的構築主義の批判的継承』新曜社。

注2) インタビューは相手の許可を得たうえで録音し、逐語的に文字起こししてください(この文字起こしの記録をトランスクリプトと呼びます)。トランスクリプトは資料として本文の後ろに掲載すること。また、文字起こしは自分の手で行うのが望ましい。もし何らかのツールを用いるのであれば、必ず音声データを聞きながら文字起こされたものをチェックすること。

注3) トランスクリプトから重要な箇所を選び、本文で必ず引用すること。書き方は以下に倣ってください。

石川良子, 2019, 「『地域×アート』の幸せな掛け算は可能か——アーティストへのインタビューから考える」『松山大学論集』31(3): 123-148.

石川良子, 2021, 「コロナ禍のものとストリップ——ある踊り子の語りから」『日本オーラル・ヒストリー研究』17:155-166.

注4) 引用・参照の仕方、文献リストなど形式は『社会学評論スタイルガイド』に準拠すること。

【社会8】前田泰樹

「出生」「病い」「老い」「死」といった、私たちの人生において生じうる経験は、新しい知識や制度のもとで変化している。これらの私たちの経験のあり方とその変容について、自ら具体的なテーマを一つ設定し、社会学的に論じなさい。

その際、下記の文献・資料を参照すること。

(1) 設定したテーマにかかわる社会学の著作・論文を3点以上。うち1冊以上は、質的研究にもとづく十分な分量のあるモノグラフであること。これらの文献から、ページ数を付した直接引用を複数行い、人びとがどのような経験をしているのか、具体的に示すこと。

(2) 設定したテーマにかかわる主張を論証するための根拠資料3点以上。関連する法や条例の条文、省庁などで公開されている資料、医学論文や医学的知識を説明する資料、公開された闘病記、当事者団体等で公開されている情報や体験、新聞報道などを含む。

上記の文献・資料は、『社会学評論スタイルガイド』に準拠して、すべて本文内で適切に引用し、末尾に一括して引用文献表としてまとめること。

【社会9】西山志保

あなたの関心ある都市問題（例えば、都心衰退問題、住宅問題、待機児童問題など）を一つ取り上げ、以下の課題を4000字以上のレポートとしてまとめなさい。現地で2件以上のインタビュー調査を行うことを必須とする。

- ① 都市問題が発生した社会的背景と国や自治体レベルの社会政策などから、問題の概略をまとめる。ただし3冊以上の文献を利用すること。
- ② その問題に対して自治体レベルでどのような政策がとられているか、自分で適当な自治体を選び、その自治体からデータ収集するなどして明らかにする（資料出典を明記）。
- ③ あなたの選んだ自治体において、その問題に取り組んでいる市民活動団体（NPO、ボランティア団体等）を取り上げ、インタビュー調査を行い、どのような方法で問題解決を目指し、直面している問題等は何か、自治体との役割分担について分析する。

【社会10】山本崇記

21世紀が人権の世紀と言われてから久しい。しかし、私たちが生きるこの世界は、人権がことごとく蹂躪されている。一方で、「地域共生」や「ダイバーシティ」等がかまびすしく叫ばれ、陳腐化してもいる。そのような中で、社会的マイノリティをめぐる現状は、国内・国外ともに変容の真っ只中にあると言って良い。そこで、あなたが関心を持つマイノリティに関わる諸問題（人権課題）を一つ取り上げ、下記の手順に従って、4000字以上のレポートをまとめなさい。ただし、レポートとは言え、卒業研究であるので、「論文」としての体裁（章節項、文献注、参考文献、生成AIの適切利用等）を整えることに十分注力すること。

- (1) 具体的なマイノリティに関する課題を取り上げ、論じるテーマを簡潔なタイトルとして明示すること。
- (2) 関連する社会学的研究（論文、書籍等）を5点以上参照し、適切に言及・引用すること。ただし、当該テーマが学際的な研究に及んでいる場合があるので、法学や心理学等、隣接領域の研究を加えることは差し支えない（※上記5点にはカウントしないことに注意）。Web上のデータベースのみに依拠せず、図書館を有効活用すること。
- (3) 当該テーマに関するマクロな文脈—制度・政策・歴史／国際社会・国・地方自治体—について、法律、政策文書、社会統計や新聞記事等を幅広く踏まえること。

- (4) 実際に関連するマイノリティ当事者やコミュニティの「声」をデータとして活用する。関係者へのインタビューや二次データ（当事者の語りや当事者自身の手による書籍等）でも良い。
- (5) (1) ～ (4) を踏まえて、自身の考察を加えて、結論付ける。

レポートの作成に際して、疑問や悩むところがあれば、適宜、山本まで連絡・相談すること。体裁は、立教大学『Master of Writing』及び日本社会学会『社会学評論スタイルガイド』に準拠し、盗用・剽窃・改ざん等は厳正に評価する。